

照陽の家だより

〒683-0812
米子市角盤町3-124-3
TEL 0859-21-8151

残暑お見舞い申し上げます。

猛暑もコロナの勢いも衰えることなく続く日々。とかく気持ちがふさぎ込んだりやる気がなくなったり、緊張しすぎてぐったり・・・など、皆様はいかがお過ごしでしょうか？照陽の花壇にはひまわりを始め夏の花々がこの酷暑に耐え私たちの目を楽しませてくれています。ある夕方、水遣りをしているとギボウシの葉の陰からひらひらと舞う黒いトンボに出会いました。羽黒トンボです。このトンボ、「神様トンボ」とも言われる縁起の良いトンボとの事、お盆頃に見られるため昔はご先祖様がトンボになって帰ってきた、と思われていたようです。羽根を閉じたり開いたりする様子がまるで合掌している姿に見える神様トンボ。様々な災難に見舞われる今、私たちもお盆には手を合わせ先人への感謝とより良い未来への祈りを捧げたいものです。どうかご自愛下さい。



施設長 三代 富士子

☆感染対策研修(7月)実施しました!

7月は感染症対策の研修として『正しい手洗い』『防護服の着脱手順』の実施訓練を行いました。手や指についたウイルスの数は、流水ですすぐと100分の1に。ハンドソープや石鹼で10秒もみ洗いし15秒ですぐと1万分の1に減らせます。手洗いはウイルスの膜のあるなしに関わらず有効です。時間を掛けて丁寧に手洗いをする。適切な量を守り手指消毒すること。感染対策の基礎として徹底した指導を行っています。また防護服の着脱訓練では、いつでも慌てず対応が出来る様に着衣から脱衣、脱衣後の処理の仕方。脱衣時にこまめに消毒をし、汚染されている部分に触れない様細心の注意を払う等、感染予防のために手順をしっかり守ることの重要性を伝えております。

感染予防対策委員長 石場 圭子



コロナ感染症ばかりじゃない!! 食中毒にも注意しましょう!

食中毒というと、飲食店がまず頭に出てきませんか?ところが、毎日食べている家庭の食事でも発生しています。食中毒は、その原因となる細菌やウイルス、寄生虫が食べ物に付着し、体内へ侵入することにより、腹痛や下痢、嘔吐などの症状が急に出来ます。夏は湿度や気温が高く、細菌が増えやすいので、この時期には細菌性、冬はノロウイルスなどのウイルス性の食中毒の発生がみられます。食中毒は年間を通して発生していますので、日頃から食中毒の予防(①細菌をつけない②増やさない③やっつける)に心がけましょう。照陽の家では調理員が食中毒には細心の注意を払って調理していますので、安心してお召し上がり下さい。

訪問看護ステーション ハートケア

夏だ〜!! スイカ割り! かき氷! ひまわりだ!



スタッフ紹介



こんにちは!!介護副主任の原翔太です。私は平成23年3月に専門学校を卒業しすぐに照陽の家に入職しました。あれから11年が経ちました。最初の頃は実際のところ、介護の事を何も知らず右往左往していましたが職場の先輩方が丁寧に教えてくださることで、少しずつ慣れていき介護の仕事がとても好きになりました。2,3年前のことですが、その日は8月のとても暑い日でした。朝の送迎が終わり照陽の家近くの旧道に倒れている高齢者の方を発見しました。すぐに停車し声を掛けました。その方はうつろな表情でしたが意思疎通は可能だったので取り敢えず送迎車に乗って頂き照陽の家にお連れしました。すぐに看護師がバイタルチェック、傷の手当てをし、ぬるめのお茶を差し上げると笑顔が戻りました。自宅は近くの方でしたので管理者と相談しお送りすると本当に喜んで頂きました。困っている人の役に立つ事がこんなに気持ちの良いものかと実感した一瞬でした。

その方は数年後、縁があり今、照陽の家に利用者として通って頂いています。経験年数はベテラン、中堅の代になってきていますが、まだまだ未熟な部分も沢山あり、日々職員や利用者様との関わりが勉強になっています。今後も沢山の利用者様とのふれあいを大切に、そして初心を忘れずこれからも頑張っていきますので宜しくお願いします。